

学校 教育 目標	進んで学び 学びを深め 学びを活かす子ども			
	【知】自ら課題を見付け、主体的に考え、粘り強く解決する力を育てます。 【徳】自他の違いを認め合い、共に支え合う心情を育てます。 【体】望ましい生活習慣や楽しく運動する習慣を身に付け、自他の心身を大切にできる態度を育てます。 【公】まちに学び、まちから愛され、まちを愛する態度を育てます。 【開】様々な「もの・こと・人」との出会いに学び、よりよい関係をつくる力を育てます。			
学校 概要	創立 72 周年	学校長 伊藤 洋子	副校長 石川 和之	3 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 365 人	主な関係校: 錦台中学校・西寺尾第二小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	錦台中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
自分づくりの力	錦台中学校 西寺尾小学校 西寺尾第二小学校	互いに認め合い、自ら行動する子ども  ・ブロック授業研究会を通して、育てたい子ども像の育成を目指した授業づくりについて共通理解を図り、小中一貫教育カリキュラムの改善を行う。 ・交流日や職業体験を通して、児童生徒が進学や将来への期待や希望をもつ機会を設定する。 ・学地連での子どもの健全育成について話し合う機会を通して、育てたい子ども像への理解や学校・家庭・地域の連携や役割を明確にする。 ・教育活動の質の向上を目指し、小中一貫教育推進ブロック内評価やブロック学校運営協議会による学校関係者評価を行う。

中期 取組 目標	◎「自分づくりの力」を育成する教育課程を改善し、家庭・地域との連携を図り、「自らつくる」子どもを全職員で育みます。
	【知】課題解決の過程で、知識と経験を結び付けたり、他の考えにふれて自分の考えを広げ深めたりすることを大切にします。“ <b>実生活に生きる知恵をつくる</b> ” 【徳】目標に向かって共に活動する過程で、自他のよさや違いを感謝し、個々の「らしさ」を見つめることを大切にします。“ <b>自他を大切にできる風土をつくる</b> ” 【体】運動の楽しさを味わい、健康や食について学ぶ過程で、心と体のつながりや健康の大切さを考えることを大切にします。“ <b>心と体の健康な生活をつくる</b> ” 【公】まちのよさにふれ、まちのためにできることを実践する過程で、まちと自分とのかかわり方を考えることを大切にします。“ <b>社会参画意識をつくる</b> ” 【開】共感的に理解したり合意形成したりする過程で、多様性に触れ、自他の関わりを見つめることを大切にします。“ <b>共に生きる関係をつくる</b> ”

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①学習の総合化を図る、各学年・各学級等年間指導計画を立てる。学期ごとに実現状況を把握する。②総合的な学習の時間と生活科を中心に、課題解決に向け、自ら考える・共に考える活動を意図的・計画的に位置付けた授業をつくる。③「自分づくりの力」を育てる、二期制のよさを生かした教育課程を編制する。
担当	E研教育評価部	
徳	人権教育 道徳教育	①各学級の人権目標を設定し、日々の継続的な取組を充実する。②道徳科の学習を核として、道徳教育の充実を図る。③児童会を中心とした、児童の主体的な挨拶運動を工夫し、挨拶の日常化を図る。④ペア学年やブロックでの活動を行い、異年齢児童の交流を推進する。
担当	E研人権・福祉部 B研道徳部	
体	健康教育	①学校保健委員会のテーマに迫るために、児童の委員会活動を中心とした集会を学期に1回実施し、各学級での日々の継続的な取組を推進する。②養護教諭との連携を図り、全学年にわたる系統的な性に関わる指導を充実する。③食を視点にした授業実践を通し、食育全体計画・年間指導計画を見直す。
担当	A研体育部 B研養護部・食育部	
公	地域学校協働活動	①地域の材(もの・こと・人)を活用し、自分と地域とのかかわり方を考える授業をつくる。②「ピカピカ大作戦」「地域ふれあい清掃」等、家庭・地域との連携を図る行事を実施する。③「ブロックで育てたい子ども」の育成に向け、錦台中ブロック学校運営協議会を運営する。
担当	C研推進委員会 PJつながり委員会	
開	特別支援教育	①個別支援学級・国際教室・スマイル学習で学ぶ児童の支援計画・指導計画について担当と担任が共有するとともに、保護者と子どもの育ちを確認しながら、指導の充実を図る。②特別支援コーディネーターを窓口、関係機関やSC、SSWと連携し、情報交換や相談、研修などの児童理解の機会を充実する。
担当	PJ特別支援委員会	
いじめへの対応		①いじめ防止対策委員会及び児童へのアンケートを実施し、定期的の実態を把握する②教科分担制、TT、交換授業などの指導体制を工夫し、日常的に実態を把握する。③「西寺尾スタンダード」を含めた学校のきまりを押し所に、誰もが安心して学校生活を送るための生活指導を行う。
担当	C研児童指導部 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(動き方)		①学校全体の活動の主担当にCS(キャリアステージ)1・2の教員を据え、CS3の教員や主幹教諭が協働する体制をつくる。②メンター研・初任研は、授業実践を主な内容とし、主体的・日常的な研修となるよう工夫する。③学年研・ブロック研での協議・相談等を充実する。
担当	総務部 研究・研修部 指導部	
担当		
担当		
担当		